

# PLAZA IMS

プラザIMS イムス札幌消化器中央総合病院

「プラザIMS」は、患者様、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



2019/7月

Vol.8

## ALTA療法（4段階注射法）

## メスを使わず注射で治す『痔』の治療



## CONTENTS

特集（外科）

・・・痔の治療『ALTA療法（4段階注射法）』

部署紹介

・・・手術室の紹介

## 外来診療予定表

診療科	月	火	水	木	金	土
消化器内科 （VAD外来）	○ ○	○	○	○	○	○
循環器内科		○				○
呼吸器内科	○	○	○	○	○(受付終了11:00)	
糖尿病内科	○				○	
化学療法	○	○	○	○	○	
泌尿器科		○新患・予約外は 10:30受付終了				○(第1・3週)
外科	○	○	○	○	○(乳腺/甲状腺)	○
肛門外科	○		○			○
整形外科	○	○	○	○	○	○
脳神経外科		○	○			
手外科（完全予約制）		○			○	
形成外科		○		○		
リンパ浮腫外科外来 （完全予約制）		○		○		
皮膚科		○	○	○	○	
消化器内科 （VAD外来）	○ ○	○	○	○	○	
循環器内科		○(※1隔週)	○(※1隔週)	○		
呼吸器内科	○	○	○	○	○	
糖尿病内科				○		
泌尿器科				○		
外科	○(乳腺/甲状腺) (第1・2・4・5週)	○	○	○	○	
肛門外科	○(第1・2・4・5週)		○			
整形外科	○	○	○	○	○(第1・2・4・5週)	
脳神経外科	○	○もの忘れ(認知症)外来 完全予約制				
皮膚科		○	○			

\*1 火曜日・水曜日午後の循環器内科外来は隔週のため、事前にご連絡ください。

## インフォメーション

みなさまがより快適に健診が受けられますように、人間ドックや法定健診、乳腺ドック、膵臓・胆道ドックなどの健診コースを取り揃えております。また札幌市の各種健診にも対応しております。

万一、異常が見つかっても、当院にてスムーズな二次検査、治療が可能です。

ぜひ、みなさまの健康管理にご活用ください。



## IMSグループからのお知らせ

病院・介護施設選びに困ったら  
二次検査(再検査・精密検査)の病院選びに困ったら  
IMS総合サービスセンター(GSセンター)へ！



メールでカンタン！  
IMSグループ病院での受診相談(無料)

gscenter@ims.gr.jp

○右のQRコードをご利用いただくと便利です。  
○24時間365日受付。2営業日内にご返信します。



IMS総合サービスセンター  
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

アクセス良好  
便利・快適

札幌駅よりJRで6分・琴似駅より徒歩3分



電車・地下鉄をご利用の場合

JR函館本線「琴似駅」徒歩3分  
JR学園都市線「八軒駅」徒歩15分  
地下鉄東西線「琴似駅」2番出口より徒歩15分

バスをご利用の場合

(琴46) (琴40)系統「八軒2条1丁目」バス停下車 徒歩1分  
(52)系統「JR琴似駅」バス停下車 徒歩3分

お車をご利用の場合

当院裏側の併設駐車場(無料)をご利用ください

診療受付時間 午前 8:30～11:30  
午後 13:00～16:30

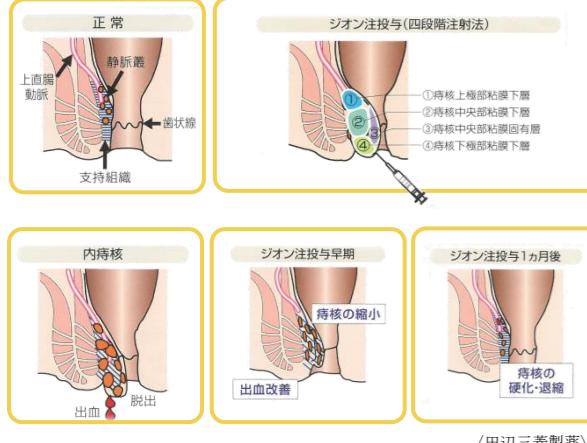
休診日 土曜午後、日曜、祝日、年末年始

IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明生会

イムス札幌消化器中央総合病院

〒063-0842札幌市西区八軒2条西1丁目1-1  
TEL:011-611-1391 FAX:011-621-1100

## 四段階注射法と治療効果



外  
科  
医  
長  
はやま さとし  
**早馬 聰**  
医学博士  
日本外科学会 指導医 専門医  
日本消化器外科学会 指導医 専門医  
日本消化器病学会 指導医 専門医  
肝胆脾外科学会 評議員  
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
マンモグラフィー読影認定医

## 部署紹介【手術室】

手術室では、消化器外科、外科、整形外科、皮膚科、脳神経外科、形成外科の手術に対応しています。

消化器外科に関しましては、体に優しく負担の少ない侵襲な腹腔鏡下手術が多く、胆石症、鼠径ヘルニアなどの良性疾患はもとより、胃がん、大腸がん、膵臓がん、胆管がん、胆嚢がん、肝臓がんなどの悪性疾患や患者の状態に応じて腹腔鏡手術か開腹手術か選択されています。手術室看護においては、手術を受ける患者が少しでも安心して手術に臨めるよう、手術当日担当看護師が病室へ伺い、患者と一緒に手術室に入室しています。

このように、術中における直接・間接介助、麻酔担当はもちろんのこと、術前・術後を通して継続的な看護と笑顔を提供しています



また、手術室には手術医師をはじめ、麻酔科医師、放射線科、臨床工学技士、薬剤師、総務課、医事課など様々な専門職が関与しています。各々の専門知識・技術を最大限に発揮し最高のパフォーマンスをするため、チーム医療を意識し、協同しています。

A wide-angle photograph of a modern operating room. The room is well-lit by overhead surgical lights. In the center, a patient is lying on an operating table covered with a white sheet. To the left, there is a large white ventilator unit on a mobile cart, with several other medical devices and monitors nearby. To the right, there are more medical carts, one pink and one blue, holding various supplies and equipment. A large screen monitor is mounted on the wall in the background. The overall environment is clean and professional.

ALTA

## (アルタ) 療法の実際

- ② 痤核に対する注射を行います。  
(A L T A 治療図)

ひとつの瘻核に対して図のように4か所に分割して投与します。これは瘻核に薬液を十分に浸透させるための方法で、このため四段階注射法と命名されています。複数の瘻核がある場合には、それぞれに投与します。1回の手術で最大3か所の注射が可能です。治療にかかる時間は、麻酔も含めて30分程度です。

③翌日、患部の診察後に退院となります。1週間から1ヶ月程度で、投与した部分が次第に小さくなり、引き伸ばされていた支持組織が元の位置に癒着・固定して、脱出がされなくなります。手術後の継続的な通院は原則不要となります。

## ALTA療法（4段階注射法）

# メスを使わずに注射で治す『痔』の治療

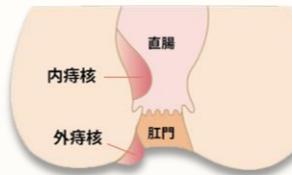
## ジオン注射療法=ALTA療法（アルタ療法）

痔を切らずに、注射で治す画期的な治療法です。

座薬や軟膏を肛門に注入する方法では治らない、排便時に出血がある、排便時に脱肛するが、自然に戻る、排便時に肛門が脱出する。指で押さないと戻らない、などの脱肛を伴った痔（内痔核）でお悩みの方にとって、夢のような治療と言えます。

風船のように拡張して静脈瘤を形成し、皮膚や粘膜が“こぶ”状に盛り上がります。これが肛門の内側にできたものを内痔核といい、外側にできたものを外痔核といいます。内痔核の場合、外側に飛び出して腫脹すると激しい痛みが出現しますが、普段は無症状です。来院される多くの患者様は鮮やかな色彩の排便時出血を訴えられています。

外痔核は排便時の息張りに破裂して皮下出血を来たすことで怒張した靜脈叢が突然ともなった肛門周囲の“こぶ”として発症します。



痔核の分類

内痔核は病状により、次の4段階に分類されています。

- | 1度                  | 2度                        | 3度                            | 4度                               |
|---------------------|---------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 痔核が肛門の内側にとどまっているもの。 | 痔核が肛門の外側に脱出するが、自然に還納するもの。 | 痔核が肛門の外側に脱出し、自分で押し戻すと還納できるもの。 | 痔核が肛門の外側に脱出したままの状態で、押し戻せなくなったもの。 |

症状は自然に軽快することもありますが、病気そのものは治癒することは無く、増悪と改善を繰り返します。座薬や軟膏などの外用薬は内痔核の症状に対して有効ですが、対症療法ですので根治性はありません。また、ステロイドが含まれている薬剤が多く、長期的に使用することは避けねばなりません。

現在、2度以上の内痔核については手術適応があると考えられています。

手術治療としては従来、痔核結紮切除術や専用の自動吻合器を用いたPPH法などが行われてきましたが、近年硬化薬剤を用いたALTA療法も専門施設において行われるようになってきました。

当院ではジオン注を用いたALT A療法を行っています。ジオン注は硫酸アルミニウムカリウムとタンニン酸を主成分とし、注射することによつて痔に流れ込む血液の量を減らして痔を硬化、縮小させ、痔を粘膜に癒着、固定させる療法です。出血や痔の脱出、肛門のまわりの腫れがなくなります。

脱出を伴う内痔核（2度～）に適応があり、ほとんどの患者様に適応があります。従来の痔核結紮切除術と同等の効果がありますが、痔核を切り取る手術と違つて痔核の痛みを感じない部分に注射するため「傷口から出血する」「傷口が痛む」といったことはほとんどありません。

治療のためにお仕事を長期間休んだりする必要もなく、身体的・経済的負担が軽い治療といえます。

痔核とは

## 内痔核の治療

## 痔核硬化療法 （4段階注射法）